

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便利

お知らせ

<クレンリネス事業部>

今年度も最終月となりました。コロナ新規感染者も減少傾向にあり、厚生労働省によると3月13日からは、市中でのマスクの着用は個人の判断となりました。オオケンが受託する医療関連事業所では、引き続き館内でのマスク着用を求められますが、3年前に比べると随分と様子が変わってきました。更に5月上旬には、新型コロナウイルス感染症は現在の2類から5類というインフルエンザと同様の扱いになる見込みです。お客様から求められる清掃の内容もコロナウイルス対策の清掃や、手すりなどの消毒業務を増やして欲しいといった要望があり、都度皆さんの力によって対応してきました。ビルや病院といった建物の清掃メンテナンスは、建物自体は動かないもののその中で求められるサービスは変化していくことを学びました。今後は、ロボットの活用やITの活用などこれまでの清掃とは異なる要望が寄せられるかもしれません。4月からの新年度を迎えるにあたり、よりよい清掃サービスを柔軟な姿勢でお届けできるよう取り組んでいきましょう。

<営業推進部>



4月1日から新規指定管理事業として、廿日市市市民活動センターの運営が始まります。企画事業として、登録団体の連携事業、国際・市民センターまつり、まちづくり相談会・講演会・まちづくり活動団体の研修、国際交流・国際協力のための語学教室、危機管理講習、情報誌の発行、健康教室を企画しています。詳細については4/1以降ホームページ等でご案内致しますので、興味のある方はお問い合わせください。

(住所：廿日市市住吉二丁目2番16号、TEL0829-32-3741)

<広島市留学生会館> (国際交流・国際協力の拠点)

当館は、G7広島サミット開催に伴う施設利用のため、3月1日から5月31日まで臨時休館となります。この間は市民の皆様との交流を目的とした企画事業は実施出来ませんが、4月からの新入居者に対しては、安全、安心、快適に日本、広島そして留学生会館での生活を楽しく有意義に過ごして貰うために、オリエンテーションや生活支援セミナーは予定通り実施してまいります。彼らが異国の地で新しい生活に一日も早く馴染み、日本を知り国際交流に励むと共に学業を成就出来ることを願っています。

<広島市中小企業会館>

令和4年度も残すところあと僅かとなりました。今期も新型コロナウイルス対応に追われた1年でしたが、コロナ禍でも安全な施設利用をご案内すると共に「会議室のLED照明化」「展示館の床面復元」などによる施設改善、「地元消防訓練」への積極的参加などにも取り組みました。今後とも来館者の皆様に安全、安心、快適にご利用頂けるよう会館の管理運営を行ってまいります。

<セキュリティ事業部>

G7の開催時期が近づき、これから市内での警戒態勢が強まることが予想されます。警備においても、これを機に現場での出入り管理や巡回が漫然と行われていないか再確認し、契約先の身体・生命・財産を守るという警備に求められる役割を確実に果たすよう努めてください。

<東京支店>

サクラ咲く！東京支店においては、みなとりサイクル清掃事務所の設備業務と豊島合同庁舎の設備管理業務を無事落札することができました。

東大病院近くの上野恩賜公園、今年は4年ぶりに花見宴会が解禁になりました。
(上野公園は南東エリアのみ宴会可。メインの「さくら通りは」自粛)

花を愛で、美酒に酔う春ですが、マナーを守ってトラブルに巻き込まれないように楽しい花見をしましょう。**年度末です。最後まで気を抜かず、気持ちも軽く、明るい新年度を迎えましょう。**



<FM事業部>

3月11日、国内観測史上最大規模の東日本大震災の発生から12年を迎えました。

長い年月の経過とともに当時の悲惨な記憶が少しずつ薄れてきているように感じられますが、今後発生が想定される「南海トラフ巨大地震」等の災害に備え、各事業所では自家発電機・放送機器等消防用設備の操作方法や復旧等について把握し、オフィス家具類の転倒により怪我人の発生や避難に支障を来たさぬよう固定状況を確認しておくことも必要です。また各家庭においても、食料の備蓄については災害の長期化を考え、ストレス軽減策の一つとして非常食の多様化を検討することも有効です。被災者の方のコメントに「私たちにとっては、何年たっても忘れることも風化することもなく、心の復興はまだまだこれからです。」とありました。**一人ひとりが今一度防災意識を高め、大切なものを守るための備えを心掛けましょう。**

<安全衛生委員会>

血圧、血中脂質、血糖値、BMI(肥満度)の数値が基準値外の場合、脳や心臓の疾患を発症する危険性が高いとされています。また、食事・運動・休養・喫煙・飲酒などの生活習慣が大きく関与すると言われている生活習慣病は様々な病気に影響を及ぼすことがあります。常日頃から身体のケアを行うことで健康を保つことができます。健康に不安を感じたり、数値が基準値を超えていたりした場合、まずは医療機関で受診するようにしてください。また、現在治療されている方は引き続き主治医の指示に従うようにしてください。**充実した仕事や生活を送るためには健康は欠かせません。今一度自分自身の健康について考えていきましょう。ご安全に！！**

<磨種(とぎくさ)>

啓蟄を過ぎて、この度6年ぶりのWBC、中国戦・韓国戦での大谷翔平選手を始め日本選手の活躍は日本中に活気を与えてくれています。気温もようやく15~18度前後を繰り返しながら、まもなく彼岸入り春分を迎え、昔からの習慣である、日本の自然をたたえ生きとし生けるものを慈しみながら、山や海での豊穡を祈る春を迎えました。日本は先の大戦から78年目、WBCのアジア予選を観戦し声援を挙げる事が出来ますが、世界の各地では今なお戦争や自然災害で苦しむ多くの人がいることに、心を痛めます。

ひたすら平和を望む我々日本国民は、平和を望むがゆえに戦争に備えなければならない時代を迎えている訳ですが、WBCの戦いを見る限り隣国からの侵略を抑止する備えをする必要があるのかどうか反芻しますが、万一抑止が失敗した場合にはどうすればよいのか、その場合には全力でもって自らがこれに対処しなければならないということを覚悟しなければなりません。平和を維持するためには当然の事ながら自覚しなければなりません。

こういう考え方は、いま私たちが所属する会社においても然りで、今まで通り会社存続を望むならば、そのために会社は生き残るための競争力の向上と優位性を備えなければならないという原理原則があります。オオケンという社会に所属している私達は、たとえ契約先の事業が蹉跌をきたして契約続行が不可能になろうとも常に次の飯のタネを植えて糧を育てていなければ、存続や成長は保証されません。

たとえ明日世界が滅亡しようとも今日わたしはリンゴの木を植える、存続への希望は強い勇気であり新たな意思であると説いたマルティン・ルターという言葉に噛み締めながら、**第59期という未知の世界を歩み続けるために5SとABCの徹底実践が必要とされ皆様のご協力を仰ぐ次第です。**

(2023.3.14 寄稿)